

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ① 児童生徒芸術鑑賞会開催／宿泊研修
- ② ディスカバリーカルチャー／事業所訪問
青少年センター
- ③ 厚真町体育協会表彰／厚真町の団体紹介
- ④ 第22回健康ふれあいマラソン大会／厚
真町文化祭開催／8月定例教育委員会／
厚真町小中一貫教育研究大会
- ⑤ 図書室だより
- ⑥ 放課後子ども教室活動報告

令和4年度

児童生徒芸術鑑賞会を開催！

8月23日（火）に厚真中央小学校、8月31日（水）に厚真町総合福祉センター大集会室で、児童生徒芸術鑑賞会が開催されました。この芸術鑑賞会は毎年、優れた芸術文化に親しむ機会を提供することや関心、意欲を高めるきっかけづくりに行っている事業です。

今年度は、札幌を拠点に活動する「札幌交響楽団」の5人の奏者による演奏で、合間には楽器の紹介や音楽を始めたきっかけなど、普段の演奏会では聞くことのできない貴重な話を伺うことができました。3校合同（上厚真小学校・厚真中学校・厚南中学校）で実施した厚真町総合福祉センターでは、演者の質問に元気に答える小学生に中学生がほほ笑む姿が印象的でした。演奏を聞いた中学生からは、「5人とは思えない迫力のある演奏だった」、「普段触れることがない楽器について知ることができた」といった感想が聞かれました。



演奏を聞き入る児童・生徒たち

町内での宿泊研修 ～上厚真小学校5年生～

9月1日（木）、2日（金）に上厚真小学校5年生が、町内で宿泊研修を行いました。児童たちは、地場産業体験として町内にある、山田牧場、堀田農園、野地農園、厚真町農業担い手育成センターの4か所に分かれて体験学習を行いました。幌内で農業を営む野地さん宅で研修を行った児童たちは、「畑で使う肥料など実際に体験しないと分からない深いところまで学習できた」「野菜を収穫するまでに何か月もかけて育てている農家の人はすごい」と体験を通して、学びをさらに深めていました。

また、こぶしの湯の大部屋に宿泊したことで、集団行動で得られる学びや来年の修学旅行へとつながる経験もできたようでした。



芋の収穫体験をした児童たち



夕食を食べる児童たち

ディスカバリーカルチャー開催状況 新発見×交流=楽しい

8月28日(日)、「プラネタリウム×ライアー」に町内外から14人が参加しました。ライアーは、ドイツ生まれのたて琴で、ジブリ映画「千と千尋の神隠し」の挿入歌「いつも何度でも」の伴奏に用いられたことで有名になりました。当日は、シンガーソングライターのMAKICOM MINAMI(マキコム・ミナミ)さんをゲストにプラネタリウムの美しい映像に合わせたスペシャルライブを行いました。ライブでは、「いつも何度でも」のほかに星座にちなんだ曲を中心に演奏し、参加者からは、「ライアーの演奏を聞くのは初めてだったが、その音色にすごく癒された」との感想が聞かれました。



宇宙の映像に合わせてライアーを演奏

9月10日(土)には、フィンランド生まれのスポーツ「モルック」に12人が参加しました。当日は天候に恵まれたことから、青少年センターの庭で行い、通りがかった町民が飛び入り参加するなど、盛り上がりました。モルックは、子どもから大人まで気軽に楽しめる競技で、チームで作戦を立てるなどコミュニケーションも楽しめることから、参加者の中には「ぜひ、同好会をつくろう」と連絡先を交換する方もいました。モルックの体験を希望する方は、教育委員会に道具がありますのでお気軽にお問い合わせください。



モルックを実際に体験する参加者

10月の開催予定ー プラネタリウム×異文化

今回のテーマ「異文化」として皆さんにご紹介するのは、中央アジアに位置するウズベキスタンです。現地で4か月間、青年海外協力隊としてサッカーの指導をしていた山中卓也やまなか たくやさんを講師に招き、写真を交えながら文化や風習、外国での暮らしといった「あなたが知らないウズベキスタンの世界」をご案内します。さらに、世界の遊びについても体験できるかも?皆さんのご参加お待ちしております。



活動の様子や開催予定はこちら

厚真中央小学校2年生が青少年センターを訪問!

9月7日(水)、厚真中央小学校2年生が、厚真町青少年センターを訪れました。青少年センターや郵便局など町の公共施設について学ぶことが目的で、図書室では、カウンターで本の貸出を体験しました。児童たちは、図書室について説明する司書の話真剣な表情で聞き、「本は全部で何冊ありますか」、「1日にどのくらいの方が訪れますか」など様々な質問をしていました。

また、青少年センター2階のプラネタリウム室では、「秋の星座」のプラネタリウムを鑑賞しました。図書室は利用していてもプラネタリウムを観るのが初めてという児童が多く「星がとてもきれいだった」「また観に来たい」と、満足した様子でした。



司書から図書室内についての説明を聞く児童たち

厚真町体育協会

優秀競技者として3人を表彰

サッカー、野球、サーフィン3競技で昨年度全国大会へ

【サッカー競技】

▽くろしげ 蔵重 晴はる

(大会出場当時・厚真中学校2年・表町在住)

第1回日本クラブユースサッカーチャレンジカップ(U-18)(群馬県前橋市)にASC北海道レディースの一員として出場



【野球競技】

▽はしば こうたろう 橋場 凰太郎

(大会出場当時・厚真中学校1年・東和在住)

第52回日本少年野球春季全国大会(東京都町田市)に苫小牧ボーイズの一員として出場

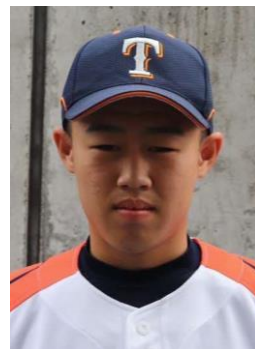


【サーフィン競技】

▽むらかみ けいと 村上 慶砥

(大会出場当時・上厚真小学校6年・上厚真在住)

第55回全日本サーフィン選手権大会2021(福島県南相馬市)にキッズ部門に北海道代表として出場



厚真町の団体紹介 ～厚真FCキッカーズスポーツ少年団～

厚真FCキッカーズは、毎週火・木曜日 午後5時30分～7時00分までの間、夏は表町公園、日暮れが早くなる頃にはスタードームで練習しており、主に小学1年～5年生の10人が活動しています。普段はキッカーズに所属している指導者の下、ボールの扱いに慣れるための練習から、シュート練習など様々な練習に取り組んでいます。また、土曜・日曜は苫小牧のチームと合同で活動しています。大会への参加も積極的に行っており、現在の目標は苫小牧で開催されるフットサルの地区大会を突破し全道大会へ出場することです。出場予定である5年生は大会へ向けて練習に励んでいます。

サッカーに興味がある、やってみたいという子がいれば団員を募集しておりますので、まずは教育委員会までお問い合わせください。



【問合せ】教育委員会社会教育G
☎27-2495

スタードーム内での練習

第22回

健康ふれあいマラソン大会

--感染予防対策を実施した上で開催します

- 日 時 令和4年10月9日(日)
- 場 所 厚真町スポーツセンター周辺道路
- 参加資格 ・厚真町民および厚真町内に勤務先を有する方
- 参加方法 9月30日(金)までに下記連絡先までに電話でお申し込みください
- そ の 他 ・新型コロナウイルスの感染状況によって中止となる場合もあります。
・昨年度中止となったウォーキングの部は、今年度は実施となります。
・参加部門など詳細に関しては下記連絡先までお問合せください。

【申込み・問合せ】

厚真町スポーツセンター ☎27-3775

8月定例教育委員会

8月26日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

厚真町防災学習研修会について/学校監査(上厚真小学校・厚南中学校)について/令和3年度会計決算審査(本審査)について/厚真町教育研究所第3回運営委員会について/メディアコントロールチャレンジ(1回目)/「世界の昆虫展」/夏休み水泳教室(小1~4年生対象)/夏休み学習会/天体観望会/ディスカバリーカルチャー/町民体育祭/厚真中央小学校芸術鑑賞会

◆議案

令和5年度使用教科図書の採択について

◆協議事項

教育委員会の活動状況に関する点検・評価について/令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

◆その他

教育委員学校訪問(10月)について/令和4年度移動教育委員会の開催について/8月31日開会令和4年第8回厚真町議会臨時会提案議案について/9月13日開会令和4年度第3回厚真町議会定例会提案議案について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

3年ぶりに芸能発表会も開催予定！！

厚真町文化祭を開催します

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、規模を縮小して実施していた厚真町文化祭ですが、今年度は、下記のとおり開催します。詳細は、来月の広報でチラシを全戸配布する予定ですので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

日 時：11月3日(木・祝) 9:00~17:00
11月4日(金) 9:00~12:00
※芸能発表は4日17時から総合福祉センター会場を予定

場 所：総合福祉センター、厚南会館
内 容：芸能発表(希望団体、希望者)
※カラオケ等、大声を発する発表を除きます
展示(希望団体、一般参加)

○一般参加も大募集です！「あなたの自慢の一品」ぜひ、展示してみませんか？

出展申込み：9月30日(金)までに下記まで電話をお願いします。

【申込み・問合せ】

厚真町文化祭実行委員会事務局
(教育委員会内) ☎27-2495

厚真町小中一貫教育研究大会開催

平成31年度からスタートした厚真町の小中一貫教育。その成果検証の機会として、研究大会を開催いたします。町内の皆様には午前に行われる授業を公開いたしますので、ぜひ、ご参観ください。

【研究大会公開授業】

日 時：11月11日(金) 10:00~11:50
小学校の授業 10:00~10:45
中学校の授業 11:00~11:50

場 所：厚真町立厚真中央小学校
町内4小・中学校の公開授業のすべてを厚真中央小学校で行います。

公開授業：中央小：4年算数・5年ふるさと教育
上厚真小：5年算数・6年英語
厚真中：2年理科・3年ふるさと教育
厚南中：3年理科・1年英語

申 込 み：10月11日(火)までに下記まで電話をお願いします。なお、新型コロナウイルスの感染防止のため、**参観人数を「30名まで」と**させていただきます。定員になり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

また、参加人数に限りがありますので、児童生徒の保護者の皆様におかれましては、各校の参観日における授業の参観をご検討くださいますようお願いいたします。

問 合 せ：教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室

Tel 27-2495 (平日)

Tel 27-2321 (土日)

厚南中学校職場体験

図書室の仕事を体験

9月6日と8日の2日間、厚南中学校1、2年生の3人が職場体験に来ました。カウンターで利用者対応や登録、貸出返却作業といった基本的な図書業務を体験しましたが、当日は来所者が少なかったことから、同時期に開催していた図書室イベント「ぬいぐるみのお泊まり会」のお手伝いをお願いしました。図書室に来てもらうために様々な取組をしていることを知ってもらうよい機会となりました。



ぬいぐるみのお泊まり会 楽しく終了しました

9月6日、8人のぬいぐるみやお人形が図書室に集合し、図書室探検がスタートしました。案内役のぬいぐるみを先頭に、図書室の利用の仕方や普段は入れない秘密の場所を探検しました。探検の後は、絵本に囲まれながらご飯を食べたり、絵本を読んだり、お面を作ったりしながら、夜の図書室を楽しんで9月10日、それぞれの持ち主の元へ帰っていきました。

今回、初の試みでしたが、計画から準備、写真をアルバムに仕立てるまで「喜んでもらえるかな」、「また図書室に来てくれるかな」と想像しながら作業するのが楽しかったです。ぬいぐるみを連れて、また遊びに来てくださいね。

リサイクル本 配布のお知らせ

毎年、町民文化祭に合わせて配布をしていましたリサイクル本(古雑誌・除籍図書)ですが、今年度は下記記載の期間にて配布を行います。配布については、青少年センター正面入り口付近に設置する机の上にリサイクル本を並べますので、ご自由にお持ち帰りください。

なお、持ち帰った本に関しては図書室へ戻さないようお願いいたします。

配布期間 10月24日(月)～11月2日(水)

配布場所 青少年センター1階 正面入り口付近



10月の休館日

10日(月) スポーツの日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時 (月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時 (火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時 (月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

10月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは

27日(木) 10時から10時半まで 場所：厚真子育て支援センターです。

☆放課後子ども教室活動報告☆

夏の名残を惜しむように、プール遊びからスタートした2学期の放課後子ども教室。幸い、雨の日には当たらなかったものの、曇り空の下では、プールの水温も低め。太陽光の偉大さを実感するプログラムとなりました。しかし、子どもは風の子。足を浸す瞬間には「冷たい！」とキャーキャー言いながらも、水に入ってしまうと寒さも忘れ、泳いだり潜ったり、いきいきと遊んでいました。一方ではスタッフによる泳ぎ方講座が始まり、他方では水のかけ合い合戦が開幕し、子どもも大人も全力で満喫した夏の思い出です。帰る頃にはみんなクタクタ。帰り道の足どりと、ぬれた水着は重いけれど、心は遊びきった満足感でいっぱいでした。

目の前をスイスイと泳ぐように飛ぶトンボたち。夕焼け空に浮かぶうろこ雲。足元からはにぎやかに、秋の虫の音が聞こえてくるようになりました。「見て！」と子どもたちの手にある虫かごをのぞくと、トノサマバッタやコオロギの姿が。別の大きな飼育ケースには、カマキリが2匹、こちらを見つめています。最近では町内でもその個体数を増やしているようです。常に虫かごをそばに置き、いろんな角度から観察する子どもたちは、とても愛らしいです。

ここ数年、9月にはプログラムの中でキャンドルホルダー（キャンドルライトを入れる入れ物）作りを取り入れています。4年前の9月6日、厚真町にとって忘れられない出来事が起こりました。今の6年生が2年生のときであり、今の1年生は当時3才です。子どもたちの成長からかんがみると、4年という月日の流れのはやさを実感します。低学年では地震のことをあまり覚えていないという子がいたり、地震発生以降に厚真へ転入してきた子どもたちもいたりして、人の動きや時間の経過とともに、子どもたち自身、自分の経験との向き合い方にも変化があるように感じています。いつでも子どもたちには元気で、笑顔でいてほしい。ケンカをしても仲直りが出来る友だちがそばにいて、安心して信じられる大人が近くにいる環境を守っていきたくと思います。厚真町は大きな災害を経験した町ではあるけれど、町のことを語るうえでは、一部に過ぎません。地震の記憶に負けないほど、自然も人も産業も文化も、その資源ははるかに豊かです。子どもたちが厚真町のすてきな資源と出会う機会を、これからも私たちは生み出し続けていきます。いつか、子どもたちが、自分が育った町のことを、客観的に見つめる場に立ったとき、“地震の町”ではない地域の姿を語れるようになってくれることを、小さく揺れる灯りを前に願った、今年のキャンドルホルダーづくりプログラムでした。

